

月刊 サンエスウォッキング

Vol.72-2

色と時代



▲ステムやシートポストのクランプ部分のみ
アノダイズドを使用し遊び心を残していた



◀リッチャーは 2001 年辺りからまるで
モノトーンのようになっていく



▲リッチャー傘下時代の MTB 系
ブランドであるシンクロスから
白いシステムが登場する



▲ブレーキ本体にアノダイズドを多用したユニークな
ディズナの製品



▲2008 年、遂にリッチャーからも
ホワイトシステムが発表される



▲2009 年にオリジナルでスケルトンカラーの
ペダルを発表



▲そしてリッチャーから赤に塗装されたステムやハンドルも登場



タイヤサイドや
チェーンなどもあ
の手この手で色目
での個性を演出



▶一般的に流行色は 2 年前に決まるそうですが、世間で 1970 年代に流行したブラウンやベージュやカーキやグリーンと言ったアースカラーが近年のサブマーブメントを起こしていると言えるでしょう。

そして、流行は変わるが廻る、というように、今度はまたカラフルなアノダイズドカラーが求められているようです。またシルバーも然りです。



ワンポイントでのアルミアノ
ダイズドカラーは自転車の樂し
さを陰で支える要素
(写真は最新総合カタログより
引用)



▶さてこれからどんな色が流行っていくのでしょうか。USA アルミアノ
ダイズド大好き商品も実力ブランドはカリスマとして息を吹き返す中。
色に飽きてモノトーン、素材色としてチタン、自分でペイント、無骨に
無塗装のフレーム、カーボン繊維を見せる見せないや、マジョーラ的な
ものや。。。

レースフレームの主流であるカーボンは金属的に遊べないので色目の範
囲が限られますですが、現在の技術ではアルミアノダイズドのように見せ
かけるなど、もはや色彩の表現は何でも可能で、ますます流行に左右さ
れて行くのかもしれませんね。



▶ワンバイエスでもカーボンのハンドル
やシートポストにもホワイトを施して
いた時期がありました。特に選手がよく
使っていた印象があります。(白いジェイ
カーボンハンドルは北京オリンピックに
使用され、ブランドシステムはパナソニッ
クレディースチーム専用カラーでした)
マガタマにもホワイトが…ありました。

OnebyESU のフレームカラーでは新モデル発表時に新しい色を
追加するようにしています。

JFF#701D 発表時のメタリック調の「M-010 メタリック C ブルー」
は、日本の人気スポーツカー逆輸入バージョンのカリフォルニア
ブルー。JFF#703D 発表時のソリッドな「S-021 サファリ G イ
エロー」は、人気が衰えない名車のサファリゴールドからです。
メタリックとソリッドも時代によって廻っている典型といえますね。